

平成二十六年 国語問題

【一】 次の各文の傍線部と同じ漢字を用いる熟語を、次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ① 条約にチヨウ印する。
ア・視チヨウ イ・膨チヨウ ウ・空チヨウ エ・丁チヨウ
カ|麗な舞台に感動する。
ア・経カ イ・豪カ ウ・負カ エ・書カ
- ② 弱点のクフクに努める。
ア・フク習 イ・フク面 ウ・フク従 エ・フク心
- ③ 美しい光景にタン息する。
ア・負タン イ・大タン ウ・元タン エ・詠タン
- ④ 意味シン長な台詞に戸惑う。
ア・シン謀遠慮 イ・シン出鬼没 ウ・疑シン暗鬼 エ・温故知シン

【二】 次の各文は、漢字の誤用を二ヶ所含んでいる。誤用とその訂正を示した組み合わせとして正しい選択肢を、次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ① 虚擬の情報に惑わされることなく、自身の感覚を信じるべきだ。
ア・虚擬↓虚偽 イ・情報↓状報 ウ・自身↓自信 エ・感覚↓間覚
- ② 親身になって相談に乗ったつもりが、誤解が症じて距離を取られてしまった。
ア・親身↓心身 イ・乗った↓載った ウ・症じて↓生じて エ・距離↓巨離
- ③ 資金の潤沢な提携先を後ろ盾にして、企画会議に望んだ。
ア・潤沢↓純沢 イ・提携↓提系 ウ・企画↓企格 エ・望んだ↓臨んだ
- ④ 勇気を奮って意勢よく飛び出したが、日頃の怠慢がたたって為す術なく散った。
ア・奮って↓震って イ・意勢↓威勢 ウ・怠慢↓退慢 エ・為す↓成す
- ⑤ 不断の努力だけが、いつか必ず光明が指すことを保証してくれる。
ア・不断↓普段 イ・光明↓巧妙 ウ・指す↓差す エ・保証↓補償

【三】 次の各問いの選択肢ア～オを並び替えて適切な日本語を作る時、四番目に来る選択肢を、次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ① 「ア・彼の体は／イ・屈強だ／ウ・先輩たちに／エ・とても／オ・鍛えられた」。
- ② 「ア・私だけが／イ・彼女の／ウ・知っている／エ・関係は／オ・彼と」。
- ③ 「ア・気付いた／イ・整理しながら／ウ・心も／エ・部屋を／オ・整理していたことに」。
- ④ 「ア・時に／イ・自分に／ウ・嘘をつく／エ・人は／オ・誰かのために」。
- ⑤ 「ア・緊急時に／イ・多くの／ウ・見落とされている／エ・対応が／オ・求められる」。

【四】 次の各文の傍線部と同じ意味で用いられる語を、次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ① 指摘を受け入れられるかどうかは、その人の人格による。
- ② つらい過去についてはき出したら、共感を得ることができた。
- ③ 時間が限られているので、重要な話題に絞って取り上げる。
- ④ 自己認識を明確にするべく、様々な世界に飛び込んでみた。
- ⑤ 定石通りにやっただけだったが、想像以上の成果が出た。

ア・アイデンティティー イ・シンパシー ウ・セオリー エ・トピック オ・パーソナリティー

【五】 次の各文の空欄を埋める言葉とその活用形としてふさわしい選択肢を、次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ① 僕が（ ）て、やっと彼は落ち着いてくれたんだ。
ア・話し―未然形 イ・話し―連用形 ウ・話せ―未然形 エ・話せ―仮定形
- ② ここは景色もよいし、食べ物もおいしいので、また（ ）よう。
ア・くる―連体形 イ・くる―仮定形 ウ・こ―未然形 エ・こ―命令形
- ③ いつの時代も、（ ）者が報われる。
ア・正しい―終止形 イ・正しい―仮定形 ウ・正直な―未然形 エ・正直な―連体形
- ④ 子供が生まれたら、汚い言葉を言わ（ ）ないようにする。
ア・させ―未然形 イ・させ―連用形 ウ・せ―未然形 エ・せ―連用形
- ⑤ 悪意はなかったが、思い返してみると後で怒られ（ ）恐い。
ア・そうで―連用形 イ・そうで―仮定形 ウ・そうなら―未然形 エ・そうなら―連体形

【六】 次の各文の空欄を、空欄内の意味になるように埋められる言葉を、次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ① 敵の（あつと言わせる）べく、三日三晩策を練った。
ア・鼻を明かす イ・鼻を折る ウ・鼻を突く エ・鼻を鳴らす
- ② 興味が湧かないからといって、（いい加減な態度で）済ませてはいけない。
ア・おざなりに イ・なおざりに ウ・場当たりで エ・斜に構えて
- ③ テレビを通すと、悲惨な事件も（自分には関係が無いこと）に思えてしまう。
ア・馬の耳に念仏 イ・枯れ木も山のにぎわい ウ・対岸の火事 エ・他山の石
- ④ いたずらに刑罰を重くしても（役に立たないこと）だ。
ア・ぬかに釘 イ・猫に小判 ウ・のれんに腕押し エ・焼け石に水
- ⑤ ここぞという時はいつも、（後に引けない様子）で挑む。
ア・臥薪嘗胆 イ・漁夫の利 ウ・登竜門 エ・背水の陣

【八】次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

今の若者は【i】ちよっとした贈り物」が好きだ、と言われるようになってから、もう十年以上たつだろうか。このことが世の中でクローズ・アップされ始めたころ、よくこんな分析が雑誌などに載っていた。「今の子どもや若者の親は、高度成長期を通して豊かな生活がそれなりに身につけている。だから、自分の子どもにも実用だけではなく」(①)「を与えてきた。だから、友だちどうしでもあまり理由がなくても、ちよっとした贈り物を贈り合うのだ」。(②)

【A】あるとき、私がカウンセリングを担当していた高校生が、お菓子についてくる【ii】小さなマスコット人形」をくれた。そのまま帰ろうとしていた彼女に「どうしてくれるの？」と聞くと「先生、最近元気ないから」と答えたが、私は別に元気をなくしていたわけではない。それは明らかに彼女の誤解だった。しかし、彼女にとっては「元気がない(ように見える)主治医を励ますために贈り物をする」という行為そのものに②意味があるのであって、実際にその人形で私が元気を回復するかどうかは、それほど重要ではないのかもしれない。そして私の方も、「いや、私は元気だよ」とその人形をつき返したりする必要はまったくなく、③「誤解にせよ、かわいい人形をもらったのはなんとなくうれしい」とだけ思うべきなのだろう。もつとよいのは、「これ、お返し」と簡単な贈り物をするのだ。そうすれば相手も「なんとなくうれしい」という気分になれる。さすがに臨床の場では、それはできないが。

【B】たしかに大人たちが贈り合うものには、中元や歳暮から賄賂まで、「こうやって感謝していますよ」「よろしく便宜を取り計らってください」など、はっきりとしたメッセージや目的がこめられている場合が多い。それに比べて、若者が「はい、これ」と唐突に差し出す贈り物には、意味や動機が見えにくいことも多い。【iii】プリクラやシール」になると、「もらったからあげた」と、交換することじたいが目的になっていることさえある。

【C】つまり、ものをあげる、もらうという行為を通して、④正しいコミュニケーションは成立していないわけだが、それぞれが自己完結的に「あげてよかった」「もらってうれしい」と感じればそれでよいのだ。

【D】しかし、よく聞いてみると【iv】彼らの贈り物」は、それがどんなに小さな何気ないものであっても、それなりに大人同様、いやそれ以上のメッセージや意味を持っているのだ。誕生日とか記念日はもちろん、「ノート貸してくれたから」「失恋したって聞いたから」「ちよっと遠出してきたから」など、若者たちの小さな贈り物には何らかの理由が必ず隠れている。しかも、そのメッセージは必ずしも相手に伝わらなくてもいいようであるし、時によっては誤解や間違いに基づくものであってもかまわないようだ。

コミュニケーションのようである、実は正しいメッセージは伝達されていない。ただ、「よかった」「うれしい」という快の感情や雰囲気だけは、なんとなく共有される。そこで、相手に対しても「いい人だな」といった漠然とした好意の感情が生まれる。(⑤)

【I】若者から何かをもらった大人が、「これはどういう意味なのだろう?日ごろ、指導している私への感謝、いや愛の告白か?」などと、そこにはっきりとしたメッセージを読み取るうとすると、とんでもない誤解につながることもある。いや、それどころか「あなたからの贈り物にこめられた愛情、しっかり受け取りましたよ」といった強いメッセージを返してしまうことで、せつかく生まれかけた「なんとも好き、の空気が消えてしまうことさえある」(⑥)彼らからちよっとした贈り物を受け取った場合は、「その真意は?」と考えこまずに気軽に受け取り、何かの機会があれば、また【v】ちよっとした贈り物」をわたしてあげるとよいだろう。【II】大人には「何も意味をこめないものを贈ること」は、きわめてむずかしい。だとすれば、下手に「これ、ちよっとしたもの」などと思いついたつぷりの贈り物を返して⑤警戒されるよりは、「お、ありがとう」とことばと笑顔だけにとどめておく方が、まだ安全かもしれない。(⑦)

【出典 香山リカ『若者の法則』岩波新書】

問一 文中の段落【A】～【D】を正しく並び替えた時、三番目に来る段落として正しいものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

ア・A イ・B ウ・C エ・D

問二 文中には次の一文が抜けている。文中の(⑧)～(⑩)の中からこの一文が入る箇所として正しいものを一つ選び記号で答えなさい。

脱落文……若者が頻繁に贈り合う日常のちよっとした贈り物とは、そういう「なんとなく好き、の空気」を増殖させるためのものだと思う。

ア・⑧ イ・⑨ ウ・⑩ エ・⑪

問三 文中の【Ⅰ】に入る語としてもっとも適当なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。
ア・しかし イ・また ウ・たしかに エ・だから

問四 文中の【Ⅱ】に入る語としてもっとも適当なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。
ア・しかし イ・また ウ・たしかに エ・だから

問五 文中の【iちよつとした贈り物】と同じ種類のものではないと考えられるものを【ii】〜【v】の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア・【ii】小さなマスコット人形【】
- イ・【iii】プリクラやシール【】
- ウ・【iv】彼らの贈り物【】
- エ・【v】ちよつとした贈り物【】

問六 文中の(①)に入るものとしてもっとも適当なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。
ア・高価なもの イ・趣味のよいもの ウ・手軽なもの エ・相手の立場で考えたもの

問七 文中の傍線部②「意味」を説明したのもっとも適当なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア・最近「元氣のない先生を励ますこと。」
- イ・贈り物を渡した相手からお返しを貰うこと。
- ウ・贈り物の中に託したメッセージを届けること。
- エ・快の感情や雰囲気を増殖させること。

問八 文中の傍線部③について、筆者がこのように考える理由としてもっとも適当なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア・若者の贈り物は、互いに自己完結するところに目的があるから。
- イ・若者の贈り物は、誤解がつきまとうものだから。
- ウ・若者の贈り物は、唐突で高価なものではないから。
- エ・若者の贈り物は、深い意味がないから。

問九 文中の傍線部④について、筆者が考える「正しいコミュニケーション」としてもっとも適当なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア・贈り物を交換すること。
- イ・贈り物の目的を相手に伝えること。
- ウ・相手の欲しいものを渡すこと。
- エ・「なんとなく好き」の空気を共有すること。

問十 文中の傍線部⑤「警戒される」を説明したのもっとも適当なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア・実用的なものを贈ってしまうことで、夢がなくなること。
- イ・無理に若者に迎合することで、大人の嫌な部分が見えること。
- ウ・隠されたメッセージの誤解が、若者を傷つけること。
- エ・漠然とした好意の感情だけでは済まなくなってしまうこと。